

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200500		
法人名	社会福祉法人恵仁福祉協会		
事業所名	真田グループホーム		
所在地	長野県上田市真田町長4205-2		
自己評価作成日	令和 5年 7月 14日	評価結果市町村受理日	令和 5年 9月 6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kami=true&amp;jiyosyoCd=2072200500-00&amp;ServiceCd=320&amp;lyne=search">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kami=true&amp;jiyosyoCd=2072200500-00&amp;ServiceCd=320&amp;lyne=search</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 5年 7月 26日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2001年に真田地域に古民家改修の真田グループホームを開設しました。2012年に現在の場所へ建築基準法、消防法改正に伴い新築移転をしました。長小学校の土手の下に位置し、周りを住宅、畑に囲まれた閑静な場所にあります。緑の山や近くの田や畑に囲まれ、小学校の子供たちの声も聞こえてくる環境です。2020年からの新型コロナの感染対策のため、地域の方との交流もできなくなっていますが、真田自治会に加入し、地域の方々も真田グループホームを気にかけていただき、折に触れ、お野菜を頂いたり、お散歩の際に声をかけていただいています。ご利用者様は6名の少人数ですので、お一人お一人のペースに合わせてゆったりと生活していただいています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームのある真田町は2006年3月、上田市、小県郡丸子町、武石村と合併し、新しい上田市の一部となった。現在、真田地域自治センターが地域の人々の窓口となり人々の生活を支えている。当ホームはその自治センターから国道144号線を北に向かい「長信号」に入った、上田市立長小学校の西隣にあり、春にはその小学校の校庭に植えられた桜を居ながらにして見ることができ、また、眼下には真田地区の里山の光景が広がります。開業後、地域に密着した少人数で家庭的な環境の「家」として運営している。現在、最高齢の95歳の方を始め90歳台の方が4名おり、平均年齢89.7歳、平均介護度2.83という6名の利用者が職員とともに日々を穏やかに安心して過ごしている。今年5月以降の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、家族との面会は予約制とし4名以内で15分間に限り居室にて行っている。遠方の方も含め家族の来訪も平均すると月1回から2回あり、来訪の際には日々の状況を細かく伝えている。法人の運営理念「人として、幸せに、安心して、生きる日々を大切に」やスローガン、職員の行動規範としての「6つの実践」などを居間に掲示し、家族ほか来訪者に対しても支援の方針を明らかにし、また、それらを年度の法人の事業計画の骨子とともに名刺大のカードに集約し職員のネームホルダーに入れ携行できるようにしている。職員は理念や「6つの実践」、「事業計画の骨子」などをオンラインで行われる月1回の法人全体会議の席上やホームのカンファレンスなどで唱和し実践に繋げている。人の尊厳を大切に法人の姿勢にブレはなく、日中の職員の配置も3名という時間帯を設け、認知症ケアに精通した職員が安心と安全に配慮しつつ自分の身内を看るようなやさしさで利用者へ寄り添っている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				